

2050年カーボンニュートラル  
脱炭素社会の実現



開発背景

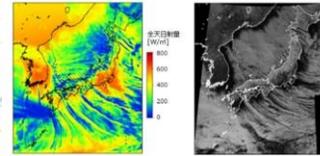


燃料高騰を受けた電気代高騰  
自社電源保有の動き

## 発電予測システム

機器のスペックデータ  
過去の気象データ

発電監視9年間7,000箇所のデータ

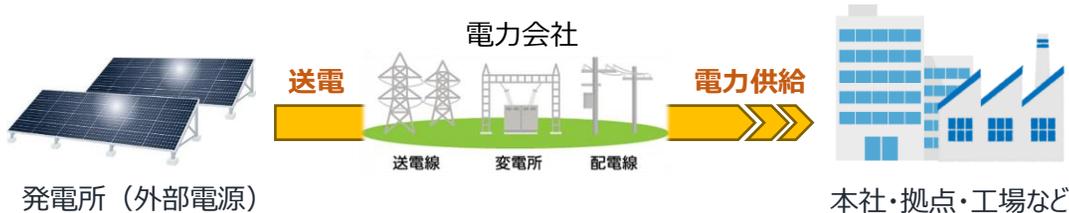


30分ごとの日射量、改良気象モデル  
ピンポイント日射量予測。  
国内外の複数気象モデルの予測統合

エコリンクスでは発電監視の実績データ、気象予測、日射量予測、機器のスペック、過去の気象データなどを取り入れ独自のロジックで発電量を分析。  
また将来的にはAIによる解析を取り入れる事で一層精度の高い発電量予測を実現いたします。

## 脱炭素や電源確保を目的とする自己託送

発電量予測を必要とする代表的な取り組みに自己託送がございます。  
遠隔地に開発された発電所を自社の電源とし再エネ比率を増やす方法です。



### 運用に関わる必須業務

自己託送の取組みにおいて発電計画、需要計画の提出は義務となります。  
翌日計画においては30分ごとの予測値が必要となります。



電力広域的運営推進機関  
(OCCTO)

### エコリンクス トータルサポート

- 発電30分電力量
- 需要30分電力量

発電販売計画の作成・提出  
需要調達計画の作成・提出

※ 発電所の監視システム構成によって  
計画提出までの運用業務が異なる事がございます。

**01 開発支援**

- ・土地調整
- ・設計、申請
- ・施工支援
- ・部材調達

**02 発電予測**

- ・発電予測システム  
年次/月次/週次  
翌日計画

**03 受給監視/管理**

- ・発電監視
- ・定期点検
- ・緊急応動
- ・実績値管理

**04 計画提出**

- ・発電計画提出運用
- ・需要計画提出運用
- ・電力分配最適化